

常に一流であれ

本日の生徒会本部役員選挙・立候補者による立会演説会、そしてその後の投票は、三尻中学校のリーダーを決める大切な行事です。立候補者10名は本日に至るまで、ポスターの作成、朝の呼びかけなどの選挙活動を行ってきました。どの立候補者からもこの学校をよりよくしたいという思いを感じ取ることができ、私は大変頼もしく思っています。

また、その選挙活動を裏方として支えた、並木委員長をはじめとした選挙管理委員さんのおかげさまで本日の立会演説会を迎えることができました。ありがとうございました。

今、ラグビーワールドカップが開催されています。先日は、サモア戦の激闘がありました。数日後にはアルゼンチン戦を迎えます。そんな日本代表のリーダーは姫野和樹（ひめのかずき）選手です。姫野選手は、中学校時代のラグビー部顧問から「常に一流であれ」という言葉を贈られて以来、その言葉を胸に練習や試合に臨んでいるそうです。姫野選手が考える「一流」とはプレーが上手という技能的なことではありません。では、何か？それは「倒れてもすぐ起き上がること」なのです。ラグビーはぶつかり合いがとても多いです。倒れてすぐ次のプレーに移ることをラグビー用語で「リロード」と表現するそうです。姫野選手は、タックルを受けグラウンドにたたきつけられても、すぐに起き上がり、仲間のために次のプレーに移ること、「リロード」の優れている選手が一流であると考えています。そして、一流選手こそが、そのチームのリーダーにふさわしいと発言しています。

姫野選手の言う「一流」は、とても難しいことではありますが、特別な技能が必要なことではないように感じます。肝心なのは、「心構え」「心意気」なのではないでしょうか。心構え、心意気によって、誰でも一流に、誰でもリーダーになれる可能性はあるのです。

立会演説会では、立候補者の「三尻中学校のために行動する」心構え、心意気を、皆さんにも感じとってほしいです。そして、その後には、三尻中学校のリーダーを決める「投票」があります。皆さんの一票には重い責任があります。よく聴き、よく考え判断し、一票を投じてください。